

## 第 37 回電子情報化委員会 議事録

日時：2009 年 3 月 17 日（火）15:30～18:30

場所：JCI 会議室

出席者：中村委員長、三木幹事

甲斐、田嶋、田所、八十島の各委員

(事務局) 五十嵐専務理事、井上、戸口

資料

37-0： 電子情報化委員会（第 37 回）議事次第

37-1： 第 36 回電子情報化委員会議事録（案）

37-2： 投稿査読サーバーシステムの費用契約費用の見直しについて

37-3： メールニュースに関する提案

37-4-1： J stage 認証について

37-4-2： 既存システムを用いた JCI 論文集・年次論文集掲載の利点・欠点

35-5： 電子情報化委員会 平成 19 年度事業報告 平成 20 年度事業計画

議事

### 1. 議事録（案）の確認

- ・ 第 36 回議事録（案）を確認した。
- ・ 事務局より指摘事項 1 点。JCI のサーバ増設について、作業が完了したこと、内訳として 20GB メール、80GB ウェブ、合計 100GB を増設したことが報告された。

### 2. メールニュース登録者について

#### (1) メールニュース登録者データ報告（事務局）

- ・ 3 月現在、総数 2200 件弱、会員 780 名、非会員 1400 名。（昨年 12 月から 3 ヶ月で約 100 名増）

#### (2) 紙面による登録申込について（事務局）

- ・ 4 月から診断士講習会が開催されるので、配布する。
- ・ 先日、ひび割れ講習会（参加者約 400 名）があったが、登録用紙は配布していない。講習会を有効活用する必要がある、適宜配布準備する。
- ・ 今後配布することが可能な機会のリストアップをする。（担当：事務局）

### 3. 年次論文投稿システムの費用見直し（資料 37-2、担当：八十島委員）

- ・ 八十島委員が年次大会実行委員会に出席し、査読サーバーシステム更新のための 2010 年度更新費用 4 案（本委員会推薦 1 案を含む）を説明した。実行委員会は、推薦案を採用すること。
- ・ 事務局から年次論文集に関する報告があった。2004 年つくば大会、論文公開完了。予算が取れ次第、2005 年京都大会分も掲載する予定。また、印刷版論文集廃止の件、理事会了承し、

2009年から廃止の予定。

- ・ 査読システムに関する査読委員の意見集約を事務局が行うとともに、年次大会の査読・投稿システムおよびCD-ROM 論文集に関する改善事項を八十島委員がまとめる。

#### 4. メールニュースについて（資料 36-3、担当：高橋委員）

- ・ メールニュース配信増、およびメールニュース活用のための方策案 6 つを示した。
- ・ 以下、登録者増加について①～④、メールニュースの活用について⑤、⑥
- ・ なお、メールアドレスは個人情報なので出来るだけ特定の人だけが扱うのを前提とすることを確認した。

##### ① 研究委員会（担当：浅本委員）

- 委員への依頼文を配布し、各自で登録してもらうよう依頼する。（依頼文案：浅本委員）
- 研究委員会にて、HP 作成、活用の依頼。各委員会での委員への依頼文の紹介を依頼。
- 支部役員会（6月開催？）においても登録してもらうよう依頼する。

##### ② 入会時・登録情報変更時

- 入会申込用紙の欄内にメールアドレスを記入することは、会員情報データベースへ加えるように思われる。欄外にメールアドレス、メールニュース配信の可否を記載する対応もあり得るが、現状では事務手続きでメールアドレスを利用することはないので、入会申込用紙での対応を**今回は見送る**。
- ホームページの会員情報変更ページでは、メールアドレス記入が必須となっているため、この頁で、メールニュースの配信の可否を聞いて、メールニュース配信に使えるか検討する。ただし、変更・再登録届の登録サーバとメールニュース配信用メールアドレスの登録サーバは異なるため、これらのサーバ間でメール情報を受け渡す作業が必要である。これを自動に行うことは技術的には可能かを八十島委員が検討する。

##### ③ 講習会

- 従来どおり。依頼文の配布、メールアドレス収集、登録の作業で行う。

##### ④ 年次大会論文投稿、参加申し込み

- 年次大会投稿時、および参加申し込み時にメールアドレスを登録してもらい、さらにメールニュース配信の可否も選択できるようにシステム変更してもらいたい。次年度の申し込みウェブ画面を変更し、メールアドレスを登録できるよう依頼する。（担当：八十島委員）
- 現在、工事中となっているページに、更新された場合はメールでお知らせするよう案内し、メールニュース配信登録を勧める。札幌大会の大会参加ページを、すぐに修正し、号外として年次大会の参加登録が開始されたことを伝えるメールニュースを作成する。（担当：高橋委員）

##### ⑤ 投稿システム

- これについては、議論保留。
- メールニュースは、原則、HP に掲載されたコンテンツの紹介に用いることとする。

##### ⑥ 号外

- 号外を今後出していくことを決定した。号外の内容は、従来のメールニュースの基本的

考えである、ホームページに掲載されている内容に限定することを確認した。

- 号外を多く配信しすぎると、メールニュースへの興味や作業量の増大となるので、まずは号外として配信する内容を取り決めることとし、年次大会の、講習会、シンポジウムの開催案内、技士試験受付開始、など、配信可能な内容をリストアップする（担当：事務局、高橋委員）。なお、上述のように年次大会の参加登録は号外とする。
- 号外は速報性が要求されるが、その内容に責任を持てるようなシステムを検討する。

#### 5. 論文検索システムについて（資料 37-4-1、37-4-2、担当：田所委員、三木幹事）

- ・ J-STAGE パスワード管理の方法について、認証方式は、購読者認証と機関認証がある。購読者認証では購読者が ID とパスワードを管理、機関認証では IP アドレスから判断。
- ・ J-STAGE、CiNii 利用のメリット、デメリットを整理した。
- ・ パスワードは、例えば、会員専用のページを JCI に設け、そこで認証すると会員専用ページ経由でウェブを見ると機関認証として閲覧可能。
- ・ まずは、コンクリート工学論文集を検索システムへ掲載することを目指す。その際に、会員、非会員の区別のため、パスワードを発行する。検索システムへ掲載した場合のメリット・デメリット、その際の論文集利用のあり方とともに、Jstage、CiNii のいずれを用いるのかということまでも含めた具体的な作業内容を提案してもらう。（担当：椋山委員、田所委員・三木幹事が協力）

#### 6. JCI の HP について（資料なし、担当：吉岡委員、田嶋委員）

- ・ JCI の規定や決算、電子公告をどの程度、どの範囲まで HP に掲載するか、検討する。
- ・ まずは、他学協会の現状を調査する。（担当：吉岡委員、田嶋委員）

#### 7. その他

公益法人制度について、五十嵐専務理事から現状の検討内容の説明があった。公益目的事業、共益目的事業の選別を行っているとのこと、そのうち、本委員会にて、例えばコンクリート論文集の位置づけ（公益事業として取り扱うことができるか）について議論してもらいたいとの意見を受けた。

#### 8. 次回委員会

- ・ 5月29日（金）15:30-18:30
- ・ 次回委員会前に行う作業（メール審議で進める）
  - ①事業報告、事業計画案の作成（担当：三木）
  - ②研究委員会委員へのメールニュース登録の依頼文作成（担当：浅本委員）
  - ③研究委員会にて、HP 作成、活用の依頼、メールニュース登録の依頼（担当：浅本委員）
  - ④年次大会札幌大会の大会参加ページを、工事中期間はメールニュース配信登録を促すように修正。また、号外として年次大会の参加登録が開始されたことを伝えるメールニュースを作成。（担当：高橋委員）
  - ⑤メールニュース登録依頼文の配布可能な機会のリストアップ（担当：事務局）

・ 次回委員会までの宿題

- ①査読システムに関する査読委員の意見集約（担当：事務局）
- ②年次大会の査読・投稿システムおよび CD-ROM 論文集に関する改善事項の取りまとめ（担当：八十島委員）
- ③会員情報変更・再登録届の登録サーバとメールニュース配信用メールアドレスの登録サーバ間でのメール情報を受け渡しシステムの検討（担当：八十島委員）
- ④メールニュース号外として配信可能な内容をリストアップ（担当：事務局、高橋委員）。
- ⑤コンクリート工学論文集の電子化から検索システム掲載の具体的な作業内容案の作成（担当：椋山委員、田所委員・三木幹事が協力）
- ⑥規定や決算、電子公告の公開に対する他学協会の現状を調査する。（担当：吉岡委員、田嶋委員）